



3学年 大学入試制度の概要を説明しました

入試に向けて大切にしたいこと

○大学は何をするところ？

・自分自身の興味や関心のあることを決めて、学問的に深く追究していく、「研究」をするところ。

→大学の科目は「〇〇学、△△学」。学びたい教授や分野を定めて、「行けるところ」ではなく「行きたい」ところを目指す！

○IB生と入試

・IBプログラムは何のために学ぶもの？
・情報の大切さ



総合型選抜

○「学力」だけでなく、総合力勝負

・学校の内外でどのような活動をしてきたか、活動と大学でやりたいことがどうつながっているのか、「うちの大学にピッタリかどうか(≒アドミッション・ポリシーと合うか)」など幅広い視点での選抜。

○入試の時期、IB生としての関わり

・時期は大学によって千差万別。まだ数は少ないが総合型選抜で「IBスコア」利用可能なところがある！



▽インダクションウィークの際、3学年生徒に対して、進路希望の決定に向けて、大切にしてほしいことを説明しました。主には、大学とは「研究を行うところ」、「行きたいと思うところを見つけて行くところ」であることや、「HiGA生・IB生として大切にしてほしい学びの姿勢」について伝えました。(左上図)

▽現在の大学入試制度における選抜の種類と方法の概要を説明しました。個々の大学に応じた選抜の制度や特徴があることを生徒は学びました。(左下図)

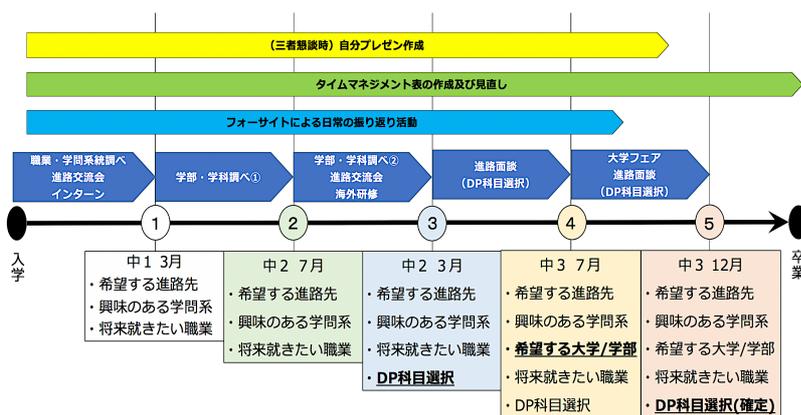
また、進路に関する情報を早めに入手し、長期の計画を立ててほしいことを伝えると、早速先生へと相談する生徒の姿も見えました。

保護者の皆さまへお願い

- ① 中学校2・3年の生徒は、タイムマネジメント表(4月23日〆切)を作成し、ManageBacのポートフォリオに投稿しておりますので御確認いただき、御指導ください。なお、中学校1年生の生徒は、手書きで作成し、ゴールデンウィーク明けに提出します。
- ② ゴールデンウィーク中の課題について、帰省の際には一緒にリストを確認していただき、御指導よろしくお願ひします。

進路希望調査について ～中学校3年間の流れ～

進路希望調査(全5回)と進路指導部の取組



本校では、中学校3年間で合計5回の進路希望調査を実施します。上図にはそれぞれの調査の項目を示しております。御覧のとおり、年次が上がるにつれて調査の内容が詳細になっていきます。あわせて、生徒の発達段階を踏まえた進路指導を進めております。

保護者の皆さまにおかれましては、各調査や取組への御理解と御協力をいただき、日常的にお子様と進路に関する話題に触れていただきますよう、よろしくお願ひします。

進路指導部から

新年度がスタートして1ヶ月が経過しました。「これを頑張ろう」と覚悟を決めたことを継続していますか？“Rome was not built in a day.”日々の努力の積み重ねが未来を切り開く原動力となります。今は土台をしっかりと作りましょう。